

DNA損傷修復異常を伴う免疫不全症の解析	森尾 友宏	発達病態小児科学	2,500	補	日本学術振興会
白血病における染色体転座の発生機構	水谷 修紀	発達病態小児科学	10,400	補	日本学術振興会
境界性人格障害治療におけるネットワーク構築に関する研究	大島 一成	精神科	500	委	国立精神・神経センター
NMDA型グルタミン酸受容体コアゴニストの難治性統合失調症に対する臨床応用	竹内 崇	精神科	800	補	文部科学省
D-セリン脳内代謝の調節による統合失調症の新規治療薬開発への応用	山本 直樹	精神科	2,000	補	日本学術振興会
統合失調症様症状発現薬で誘導される発達依存的遺伝子の変異解析と精神疾患への応用	石井 澄和	精神行動医科学	1,300	補	日本学術振興会
不安障害の発症と病態に關与する脳内分子機構の研究	車地 暁生	精神行動医科学	1,700	補	日本学術振興会
グルタミン酸伝達系を標的とした統合失調症の新規治療法開発に関する研究	西川 徹	精神行動医科学	6,400	補	日本学術振興会
統合失調症の分子病態の解明	西川 徹	精神行動医科学	20,400	補	文部科学省
高次脳機能障害におけるD-セリンシステムの病態解明と治療法開発への応用	西川 徹	精神行動医科学	22,000	補	国立精神・神経センター
緑茶カテキンによる食道癌、頭頸部癌化学予防の基礎的、臨床的検討	河野 辰幸	血管・応用外科学	500	補	日本学術振興会
「血管疾患の診断と治療、バージャー病の病因」における内視鏡デバイスの開発	岩井 武尚	血管・応用外科学	1,200	補	日本学術振興会
バージャー病の病因解明への総括的研究	岩井 武尚	血管・応用外科学	9,490	補	日本学術振興会
下肢静脈瘤に対する血管内1320nmレーザー治療法の確立	菅野 範英	血管外科	800	補	日本学術振興会
Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフツ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	杉原 健一	腫瘍外科学	53	委	(財)先端医療振興財団
Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究-第Ⅲ相臨床試験	杉原 健一	腫瘍外科学	630	委	(財)先端医療振興財団
大腸癌の発生、進展および治療感受性に関わる因子の解析	杉原 健一	腫瘍外科学	260	委	(独)科学技術振興機構
COX-2選択阻害剤を用いた各種固形癌に対する新しい化学療法の開発	杉原 健一	腫瘍外科学	2,100	補	日本学術振興会
パラフィン包埋標本を用いたcDNAマイクロアレイの開発と臨床応用	植竹 宏之	応用腫瘍学講座	9,360	補	日本学術振興会
バイオイメージングとメタボローム解析を利用した胆汁うっ滞の生態情報包括解析	有井 滋樹	肝胆膵・総合外科学	800	補	文部科学省
外科的応用を目指した肝細胞、胆管細胞への分化誘導の再生医学研究	寺本 研一	肝胆膵・総合外科学	10,270	補	日本学術振興会
学際的総合研究による消化器癌進展の分子機構解明と予防・診療ツールの開発	有井 滋樹	肝胆膵・総合外科学	30,810	補	日本学術振興会
脂肪肝における生体内毒素解毒機構の解明とその治療	工藤 篤	肝胆膵外科	1,000	補	文部科学省
生体内モニタリング下でのウイルス増殖コントロールによる脳腫瘍の治療	山本 信二	脳神経外科	2,100	補	日本学術振興会
神経細胞移植による脳機能再生医療の評価法としてのPETの応用に関する研究	成相 直	脳神経外科	1,600	補	日本学術振興会
ナビゲーションを用いた生体、人脳スライス標本でのてんかん焦点抑制性受容体機能解析	前原 健寿	脳神経外科	1,800	補	日本学術振興会
ポジトロン標識マルチレーザーを用いた神経再生移植治療の生体内評価の研究	稲次 基希	脳神経外科	1,900	補	文部科学省
脊髄誘発磁場計測装置の研究開発	川端 茂徳	整形外科	6,090	委	(財)石川県産業創出支援機構
変形性関節症の分子病態の解明-RUNXファミリー遺伝子変異マウスを用いた検討	神野 哲也	整形外科	1,000	補	日本学術振興会
人工骨を担体としたビスフォスフォネート製剤の局所投与による骨巨細胞腫の治療	草野 和生	整形外科	1,300	補	日本学術振興会
疾患モデルマウスを用いた椎間板ヘルニア発症機序に関する分子生物学的検証	麻生 義則	整形外科	1,800	補	日本学術振興会
マイクロダイゼクション法を用いた椎体終板硬化過程の網羅的分子機構解析	古賀 大介	整形外科	2,100	補	日本学術振興会
損傷脊髄モデルに対する損傷脊髄環境の制御と幹細胞移植を用いた軸索再生と機能回復	四宮 謙一	整形外科科学	700	補	文部科学省
RNA干渉を用いた骨芽細胞、脂肪細胞分化調節因子の新規同定とその機能解析	新井 嘉容	整形外科科学	1,500	補	日本学術振興会
ナノテクノロジーを応用した人工臓器の開発 (骨類似材料の人工骨としてのデバイス化/生物学的特性評価)	四宮 謙一	整形外科科学	2,000	委	文部科学省
靱帯骨化マウス、RUNX遺伝子変異マウスを用いた靱帯骨化症の分子病態の解明	阿江 啓介	整形外科科学	1,000	補	日本学術振興会
DNAマイクロアレイを用いた骨髄間葉系幹細胞の機能的分類・培養法の検討	四宮 謙一	整形外科科学	4,800	補	日本学術振興会
中枢性骨代謝制御の分子基盤-交感神経受容体及び摂食調節因子変異マウスによる検討-	竹田 秀	整形外科科学	5,070	補	文部科学省
滑膜由来幹細胞の大量関節内注入による関節内組織修復促進	関矢 一郎	軟骨再生学	1,800	補	日本学術振興会
皮膚悪性黒色腫の染色体遺伝子異常解析	並木 剛	皮膚科	1,400	補	文部科学省
アトピー性皮膚炎由来の表皮角化細胞における転写調節因子の解析	井川 健	皮膚科学	800	補	文部科学省
強皮症のHGF遺伝子プラスミドを用いた遺伝子療法の臨床的応用	呉 明花	皮膚科学	1,400	補	文部科学省
アトピー性皮膚炎の難治化機序の解析と遺伝子療法の開発に関する研究	横関 博雄	皮膚科学	500	補	日本学術振興会

レノファンを標的とした選択的対酸球浸潤抑制療法の開発	佐藤 貴浩	皮膚科学	700	補 日本学術振興会
強皮症硬化機序の解析とHGF遺伝子プラスミドを用いた遺伝子療法の開発	西岡 清	皮膚科学	1,300	補 日本学術振興会
Activinの、前立腺および腎での細胞増殖・分化・癌化に対する効果	木原 和徳	泌尿器科学	1,000	補 日本学術振興会
培養中皮細胞による人工腹膜作製およびその臨床応用	高沢 亮治	泌尿器科学	1,800	補 文部科学省
アルキル化ピロールイミダゾールポリアミドによるホルモン抵抗性前立腺癌治療法の開発	兵地 信彦	泌尿器科学	1,000	補 日本学術振興会
ピロールイミダゾールポリアミドによる低酸素応答転写因子阻害と尿路癌抗癌剤耐性克服	影山 幸雄	泌尿器科学	1,100	補 日本学術振興会
マウス眼色素上皮細胞における抑制分子遺伝子発現の網羅的解析	岩永 洋一	眼科学	1,700	補 文部科学省
ヒト虹彩および前房水より誘導された眼特異的抑制細胞の機能解析	杉田 直	眼科学	1,800	補 文部科学省
強度近視における血管新生黄斑症の分子機構解明と治療法の確立	二神 創	眼科学	1,000	補 日本学術振興会
amyloid β を標的とした加齢黄斑変性の脈絡膜血管新生に対する治療戦略	大野 京子	眼科学	2,200	補 日本学術振興会
血型感音難聴を呈する非症候群性遺伝性難聴における難聴遺伝子の同定	八島 隆敏	耳鼻咽喉科	1,100	補 文部科学省
内耳発生におけるSIX1遺伝子とSLC26A4遺伝子の相互作用	高橋 正時	耳鼻咽喉科	1,300	補 文部科学省
糖尿病モデルマウスにおける難聴発症機序の解明	川島 慶之	耳鼻咽喉科	1,500	補 文部科学省
ヒト側頭骨病理標本からレーザーキャプチャー・ダイセクションによる難聴遺伝子の抽出	喜多村 健	耳鼻咽喉科学	700	補 文部科学省
レーザーキャプチャー・ダイセクションを用いた内耳感覚細胞のオールエヌエー解析	古宇田 寛子	耳鼻咽喉科学	1,200	補 文部科学省
ヒトと実験動物モデルの難聴におけるCDH23遺伝子の関与	喜多村 健	耳鼻咽喉科学	1,600	補 日本学術振興会
急性高度難聴に関する調査研究	喜多村 健	耳鼻咽喉科学	14,000	補 厚生労働省
精子受精能と細胞内情報伝達系についての研究	清水 康史	周産・女性診療科	1,600	補 日本学術振興会
磁気共鳴スペクトロスコピーによる低酸素性虚血性脳症の病態解析	宮坂 尚幸	周産・女性診療科	2,500	補 日本学術振興会
RAGE: 肺傷害の病態における役割と肺傷害マーカーとしての臨床応用に関する検討	内田 篤治郎	麻酔・蘇生・ペインクリニック科	800	補 日本学術振興会
心房性Na利尿ペプチドと肺水腫改善メカニズム: 肺胞上皮機能からの検討	山川 直子	麻酔・蘇生・ペインクリニック科	900	補 文部科学省
HMGB1の肺胞上皮傷害作用に関する検討	白澤 円	麻酔・蘇生・ペインクリニック科	2,600	補 文部科学省
急性呼吸不全と各種人工呼吸による肺損傷-虚脱肺と浮腫肺に対する作用の相違	中沢 弘一	心肺統御麻酔学	1,000	補 日本学術振興会
第16番染色体長腕に連鎖する優性遺伝性小脳変性症関連遺伝子の機能解析	融 衆太	脳神経病態学	1,700	補 日本学術振興会
治験の実施に関する研究[酢酸リユープロレリン]	水澤 英洋	脳神経病態学	2,800	補 (社)社団法人 日本医師会
いかなる変異に対しても特異的な新規RNA干渉法のin vivoでの有効性の検討	久保寺 隆行	脳神経病態学	3,300	補 文部科学省
脂質酸化はAベータの脳からの排泄を低下させる	横田 隆徳	脳神経病態学	3,400	補 文部科学省
GNE遺伝子異常によるRimmed vacuole型遠位型ミオパシーの病態解明	水澤 英洋	脳神経病態学	1,000	委 国立精神・神経センター
自発的グルタミン酸放出のシナプス形成・成熟・伝達効率への寄与の解明	高森 茂雄	脳神経病態学	3,500	補 文部科学省
グルタミン酸作動性ニューロンの分子多様性とその生理学的意義の解明	高森 茂雄	脳神経病態学	8,970	補 文部科学省
テンバジー、新世界サルを用いたC型肝炎のRNA干渉による遺伝子治療	横田 隆徳	脳神経病態学	10,400	補 日本学術振興会
脊髄小脳失調症6型の発症機序の解明と治療法の開発	水澤 英洋	脳神経病態学	13,520	補 日本学術振興会
RNAiを用いた神経・筋疾患の画期的治療法の開発	水澤 英洋	脳神経病態学	26,399	補 国立精神・神経センター
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	水澤 英洋	脳神経病態学	130,000	補 厚生労働省
遺伝性脊髄小脳変性症(16q-ADCA III)の分子病態解明	石川 欽也	神経内科	21,250	補 厚生労働省
わが国における尊厳死に関する研究	松島 英介	心療・緩和医療学	4,500	補 厚生労働省
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS1補助化学療法の検討-多施設無作為化比較試験-	岸本 誠司	頭頸部外科学	0	委 (財)先端医療振興財団
ビタミンEを用いたsiRNAの脳への新しいデリバリー法の開発	叶内 匡	検査部	3,400	補 文部科学省
Notchを分子標的とする急性骨髄性白血病の新規治療法とその適応症例選別法の開発	東田 修二	臨床検査医学	1,300	補 日本学術振興会
術期の呼吸管理における肺傷害マーカーに関する研究	山本 衛	手術部	2,500	補 文部科学省
核内酵素ポリ(ADP-リボース)シンターゼ阻害による敗血症性ショックの治療戦略	三高 千恵子	救命救急医学	900	補 日本学術振興会
ヘリコバクターピロリ菌の胃所属リンパ節へのtranslocationの頻度と意義	小林 大輔	人体病理学	600	補 文部科学省
オートファジーによる細胞内感染防御システムと肉芽腫形成機構	江石 義信	人体病理学	8,060	補 日本学術振興会
レトロウイルスによって増強されるアポトーシス機構の解明と遺伝子治療への応用	北川 昌伸	包括病理学	1,000	補 日本学術振興会
アポトーシス増強シグナルを応用した遺伝子治療法の開発	長谷川 真紀	包括病理学	1,420	補 日本学術振興会

大腸上皮におけるNotchシグナル機能と慢性大腸炎における上皮分化異常機構	岡田 英理子	光学医療診療部	1,300	補 日本学術振興会
再生医学的アプローチによる腎疾患治療への基礎的検討	寺田 典生	血液浄化療法部	1,000	補 文部科学省
腎尿細管および糸球体細胞の再生医学の腎疾患治療への基礎的検討	寺田 典生	血液浄化療法部	2,100	補 日本学術振興会
HCV増殖を抑制するインターフェロン誘導遺伝子群の探索及び機能解析	井津井 康浩	総合診療部	1,800	補 文部科学省
卒後臨床研修を視野に入れた卒前臨床実習の再検討	田中 雄二郎	臨床医学教育開発学	1,100	補 日本学術振興会
医療リスク教育を目的とした医用HAZOP法の開発—基本外科手技の分析演習を通じて	大川 淳	臨床医学教育開発学	1,500	補 日本学術振興会
バイオインフォマティクス解析を応用した新規ヒト生理活性ペプチドの同定	七里 眞義	医療福祉支援センター	5,000	補 文部科学省
血管新生抑制シグナルを指標にした新規腫瘍休眠療法薬の同定	七里 眞義	医療福祉支援センター	7,400	補 日本学術振興会
テロに対する医療体制の充実及び評価に関する研究	大友 康裕	救急災害医学	9,600	補 厚生労働省
出血性ショックに続発する多臓器障害に対する代用血液および保存血の影響	相星 淳一	救命救急センター	500	補 日本学術振興会
電子医療情報の有効利用による傷病および医療機能に関する統計情報の収集・分析・利活用の効率化と充実のための方策に関する研究	伏見 清秀	医療情報部	1,500	補 厚生労働省
医療圏における地域疾病構造および患者受療行動に基づく地域医療の評価のあり方に関する研究	伏見 清秀	医療情報部	2,500	補 厚生労働省
Pattern Generator(CPG)を介した新たな嚥下障害治療法の開発	山脇 正永	臨床教育研修センター	1,600	補 日本学術振興会

計141件

- 注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入する。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者に複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は、「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけたうえで、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表者等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncogene. 2006;25:4332-4340	Bcr/ABL and IL-3activate Rap1 to stimulate the B-Raf/MEK/Erk and Akt signaling pathways and to regulate proliferation, apoptosis, and adhesion	Kurosu T	血液内科
Cell Signal. 2006;18:2162-2171	CrkL plays a role in SDF-1-induced activation of the Raf-1/MEK/Erk pathway through Ras and Rac to mediate chemotactic signaling in hematopoietic cells	Arai A	血液内科
Cell Signal. 2006;18:174-182	Reactive oxygen species generated by hematopoietic cytokines play roles in activation of receptor-mediated signaling and in cell cycle progression	Kurosu T	血液内科
Am J Physiol Endocrinol Metab 2006;291:E771-E778	Angiotensin II induces monocyte chemoattractant protein-1 expression via nuclear factor-kappa B-dependent pathway in rat preadipocytes	Tsuchiya K	内分泌・代謝内科
Endocrine J 2006;53:679-685	A Case of acromegaly associated with subclinical Cushing's disease	Tsuchiya K	内分泌・代謝内科
Intern Med 2006;45:1231-1235	Subclinical Cushing's disease with amelioration of metabolic comorbidities after removal of pituitary tumor	Minami I	内分泌・代謝内科
Endocr J 2006;53:415-419	A case of factitious adrenal insufficiency after vascular graft surgery caused by spurious immunometric assays	Sakai H	内分泌・代謝内科
Intern Med 2006;45:519-524	Glucose-responsive and octreotide-sensitive insulinoma	Izumiyama H	内分泌・代謝内科
Cell Biology International 2006;30:270-277	Role of C-terminus of Kir7.1 potassium channel in cell-surface expression	Tateno T	内分泌・代謝内科
Peptides 2006;27:2561-2566	Presence of immunoreactive salusin- α in human serum and urine	Sato K	内分泌・代謝内科
Endocrine J 2006;53:237-245	A case of estrogen-secreting adrenocortical carcinoma with subclinical Cushing's syndrome	Fukai N	内分泌・代謝内科
Biochem Biophys Res Commun. 349: 804-808, 2006	Overexpression of human WNK1 increases paracellular chloride permeability and phosphorylation of claudin-4 in MDCKII cells	Ohta A	腎臓内科
Am J Physiol Cell Physiol. 290(1): C298-304, 2006	The polarized trafficking of the aquaporin-3 water channel is mediated by an N-Terminal Sorting Signal	Rai T	腎臓内科
Proc Natl Acad Sci U S A. 103: 14217-14222, 2006	Pathogenesis and treatment of autosomal-dominant nephrogenic diabetes insipidus caused by an aquaporin 2 mutation	Sohara E	腎臓内科
Biochim Biophys Acta. 1758(8): 1106-10, 2006	Physiological roles of AQP7 in the kidney: Lessons from AQP7 knockout mice	Sohara E	腎臓内科
Biochem Biophys Res Commun. 344 (1): 246-52 2006	Postnatal expression of KLF12 in the inner medullary collecting ducts of kidney and its trans-activation of UT-A1 urea transporter promoter	Suda S	腎臓内科
J Cell Physiol. 206: 792-798, 2006	Intracellular localization of ClC chloride channels and their ability to form hetero-oligomers	Suzuki T	腎臓内科
Arterioscler Throm Vasc Biol. 26: 1447-1456, 2006	T cell costimulation in the development of cardiac allograft vasculopathy: Potential targets for therapeutic interventions	Isobe M	循環器内科
Trend Cardiovasc Med. 16: 188-193, 2006	Hepatocyte growth factor: Effects on immune-mediated heart diseases	Isobe M	循環器内科
Int Heart J 47: 461-468, 2006	Successful catheter ablation of focal left atrial tachycardia originating from the mitral annulus aorta junction	Hirao K	循環器内科
J Vasc Res 43: 12-18, 2006	Ultrasound-microbubble mediated NF- κ B decoy transfection attenuates neointimal formation after arterial injury in mice	Inagaki H	循環器内科
Int J Cardiovasc Imaging. 22: 443-448, 2006	Utility of Gallium-67 Scintigraphy for Evaluation of Cardiac Sarcoidosis with Ventricular Tachycardia	Futamatsu H	循環器内科
Int Heart J. 47:159-171,2006	Poststenting axial redistribution of atherosclerotic plaque into the reference segments and lumen reduction at the stent edge. A volumetric intravascular ultrasound study	Algowhary M	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 40:688-695, 2006	A Cyclooxygenase-2 Inhibitor Alters Th1/Th2 Cytokine Balance and Suppresses Autoimmune Myocarditis in Rats	Suzuki J	循環器内科
J Am Coll Cardiol. 47: 2319-2325, 2006	Serum tenascin-C might be a novel predictor of left ventricular remodeling and prognosis after acute myocardial infarction	Isobe M	循環器内科
Circulation. 113: 2613-2622, 2006	Pioglitazone prevents acute and chronic cardiac allograft rejection	Kosuge H	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 40:853-861, 2006	A CCR1 antagonist prevents the development of experimental autoimmune myocarditis in association with T cell inactivation	Futamatsu H	循環器内科
Circ J. 70: 600-604, 2006	P-selectin expression, but not GPIIb/IIIa activation, is enhanced in the inflammatory stage of Takayasu's arteritis	Isobe M	循環器内科
Circ J. 70: 1142-1147, 2006	An oxygen therapy prevents ventricular arrhythmias in patients with congestive heart failure and sleep apnea	Suzuki J	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 41:885-892, 2006	A New RXR agonist, HX630, suppresses intimal hyperplasia in a mouse blood flow cessation model	Haraguchi G	循環器内科
Arterioscler Throm Vasc Biol. 26: 2660-2665, 2006	Critical role of inducible costimulatory (ICOS) in the development of arteriosclerosis and atherogenesis	Kosuge H	循環器内科
Transplant Proc. 38: 3318-3320, 2006	Altered expression of hepatocyte growth factor in cardiac allografts of non-human primates	Suzuki J	循環器内科
Am J Physiol. 291: G267-G274, 2006	FTY720 suppresses CD4+CD44highCD62L- effector memory T cell-mediated colitis	Kanai T	消化器内科
J Viral Hepatitis. 13:690-700, 2006	Expressional screening of interferon-stimulated genes for antiviral activity against hepatitis C virus replication	Sakamoto N	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 21:1136-1142, 2006	Ameliorating effect of saporin-conjugated anti-CD11b monoclonal antibody in a murine T-cell-mediated chronic colitis	Kanai T	消化器内科
Progress of Digestive Endoscopy. 68(2): 53-57, 2006	新しい工夫・ダブルオーバーチューブ法によるダブルバルーン内視鏡の報告	荒木昭博	消化器内科
Br J Haematol. 135(3):336-47, 2006	Common gene expression signatures in t(8;21)- and inv(16)-acute myeloid leukaemia	Ichikawa H	小児科
results from the Japan Infant Leukemia Study Group. Blood 107(12):4663-5, 2006	Japan Infant Leukemia Study Group. Infants with acute lymphoblastic leukemia and a germline MLL gene are highly curable with use of chemotherapy alone	Nagayama J	小児科
Immunity. 25: 745-55, 2006	Human tyrosine kinase 2 deficiency reveals its requisite roles in multiple cytokine signals involved in innate and acquired immunity	Minegishi Y	小児科
Cancer Research. (in press), 2006	Knockdown of XAB2 enhances All-Trans Retinoic Acid-Induced Cellular Differentiation in All-Trans Retinoic Acid-Sensitive and -Resistant Cancer Cells	Ohnuma-Ishikawa K	小児科
Blood (in press), 109: 212-218,2007	Hematopoietic Stem Cell-Engrafted NOD/SCID/IL2rgnull Mice Develop Human Lymphoid System and Induce Long-Lasting HIV-1 Infection with Specific Humoral Immune Responses	Watanabe S	小児科
Bone Marrow Transplant. 37: 469-77, 2006	Hematopoietic stem cell transplantation for 30 patients with primary immunodeficiency diseases: 20 years experience of a single	Tsuji Y	小児科
J Clin Invest. 116(1):80-9, 2006	Early G2/M checkpoint failure as a molecular mechanism underlying etoposide-induced chromosomal aberrations	Nakada S	小児科

J Neurochem 2006; 96: 30-42	Inhibition of d-serine accumulation in the <i>Xenopus</i> oocyte by expression of the rat ortholog of human 3'-phosphoadenosine 5'-phosphosulfate transporter gene isolated from the neocortex as d-serine modulator-1	Shimazu D, Yamamoto N, Umino A, Ishii S, Sakurai S, Nishikawa T	精神科
Psychiatry Clin Neurosci 2006; 60: 365-372	Quantitative magnetic resonance spectroscopy of schizophrenia: relationship between decreased N-acetylaspartate and frontal lobe dysfunction	Tanaka Y, Obata T, Sassa T, Yoshitome E, Ikehira H, Suhara T, Okubo Y, Nishikawa T	精神科
J. Affect. Disorder, 2006; 95: 35-42	Effects of repetitive transcranial magnetic stimulation on [11C] raclopride binding and cognitive function in patients with depression	Kuroda Y, Motohashi N, Ito H, Ito S, Takano A, Nishikawa T, Suhara T	精神科
J Neural Transm 2006; 113: 1717-1721	Evidence for involvement of glial cell activity in the control of extracellular D-serine contents in the rat brain	Kanematsu S, Ishii S, Umino A, Fujihira T, Kashiwa A, Yamamoto N, Kurumaji A, Nishikawa T	精神科
臨床精神医学 2006; 35: 1207-1212	修正型電気けいれん療法(m-ECT)が著効した両心室ペースメーカーを植込まれたうつ病の1症例;特集 電気けいれん療法(ECT)の治療経験—症例を中心に—	光定博生, 正木秀和, 大島一成, 車地暁生, 西川 徹	精神科
Int Angio. 2006; 25: 287-292	Effect of low-density lipoprotein apheresis on patients with peripheral arterial disease. Peripheral arterial disease LDL apheresis multicenter study (P-LAS)	Iwai T	血管外科
日本アフェレンス学会雑誌2006; 25: 42-51	非高脂血症下肢閉塞性動脈硬化症に対するアフェレンス治療研究会. 非高脂血症下肢閉塞性動脈硬化症に対するアフェレンス治療の施設臨床評価	岩井武尚	血管外科
日血外誌. 2006; 15: 597-602	膝窩動脈瘤手術症例の検討	井上芳徳	血管外科
手術. 2006; 10: 1617-1622	膝窩動脈捕捉症候群に対する手術 後方アプローチによる解剖学的捕捉解除および膝窩動脈血行再建術	菅野範英	血管外科
Dis Colon Rectum 2006; 49(3): 392-398	Coexpression of VEGF-C and Cox-2 in Human Colorectal Cancer and its Association With Lymph Node Metastasis	Uetake H	大腸・肛門外科
Dis Colon Rectum 2006; 49: 1663-1672	Indication and benefit of pelvic sidewall dissection for rectal cancer	Sugihara K	大腸・肛門外科
Ann Surg Oncol(Epub ahead of print) 2006	Effect of Combined Therapy With Low-Dose 5-Aza-2-Deoxycytidine and Irinotecan on Colon Cancer Cell Line HCT-15	Ishiguro M	大腸・肛門外科
Br J Cancer 2006; 94: 1130-1135	Phase I/II study of S-1 combined with irinotecan for metastatic advanced gastric cancer	Inokuchi M	大腸・肛門外科
Surgery 2006; 139(4): 516-522	Distribution of lymph node metastasis is a prognostic index in patients with stage III colon cancer	Kobayashi H	大腸・肛門外科
日本外科学会雑誌2006; 107(2): 77-80	【悪性腫瘍に対する内視鏡外科の現状とその評価】胃癌	小嶋一幸	大腸・肛門外科
消化器外科2006; 29(1): 19-28	直腸癌術後のフォローアップ法	樋口哲郎	大腸・肛門外科
消化器外科2006; 29(8): 1149-1158	大腸癌肝転移の治療方針と成績	安野正道	大腸・肛門外科
臨床外科2006; 61(11): 197-203	直腸癌に対する自律神経温存術	榎本雅之	大腸・肛門外科
J Biol Chem. 28:281(30):21183-97. 2006	The early-immediate gene EGR-1 is induced by transforming growth factor-beta and mediates stimulation of collagen gene	Chen SJ	皮膚科
J Virol. 80(15):7375-81. 2006	Reduction of human T-cell leukemia virus type 1 (HTLV-1) proviral loads in rats orally infected with HTLV-1 by reimmunization with HTLV-1-infected cells	Komori K	皮膚科
Am J Pathol. 169(2):697-707. 2006.	STAT-6-mediated control of P-selectin by substance P and interleukin-4 in human dermal endothelial cells	Miyazaki Y	皮膚科
J Immunol. 15:177(4):2621-9. 2006	Prostaglandin D2 plays an essential role in chronic allergic inflammation of the skin via CRTH2 receptor	Satoh T	皮膚科
Tissue Engineering. 12: 2629-37. 2006	Transplantation of an autologous mesothelial cell sheet prepared from tunica vaginalis prevents post-operative adhesions in a canine model	Asano T, Takazawa R, Yamato M, Takagi R, Jimura Y, Masuda H, Kihara K, Okano T	泌尿器外科
BJU Int. 97: 1184-9. 2006	Deferred combined androgen blockade therapy using bicalutamide in patients with hormone-refractory prostate cancer during androgen deprivation monotherapy	Fujii Y, Kawakami S, Masuda H, Kobayashi T, Hyochi N, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
Act Oncol. 45: 317-24. 2006	Suppression of VEGF transcription in renal cell carcinoma cells by pyrrole-imidazole hairpin polyamides targeting the hypoxia responsive element	Kageyama Y, Sugiyama H, Ayame H, Iwai A, Fujii Y, Eric Huang L, Kizaka-Kondoh S, Hiraoka M	泌尿器外科
Int J Clin Oncol. 11: 127-32. 2006	Optimal sampling sites for repeat prostate biopsy: a recursive partitioning analysis of three-dimensional 26-core systematic biopsy	Kawakami S, Hyochi N, Yonese J, Yano M, Fujii Y, Kageyama Y, Fukui I, Kihara K	泌尿器外科
J Urol. 176: 387-93. 2006	Altered nitric oxide synthase, arginase and ornithine decarboxylase activities, and polyamine synthesis in response to ischemia of the rabbit detrusor	Kawano K, Masuda H, Yano M, Kihara K, Sugimoto A, Azuma H	泌尿器外科
Proc Natl Acad Sci USA. 103: 11318-22. 2006	Hsp90 inhibition transiently activates Src kinase and promotes Src-dependent Akt and Erk activation	Koga F, Xu W, Karpova TS, McNally JG, Baron R, Neckers L	泌尿器外科
Urology. 67: 435-9. 2006	15-deoxy-delta12,14-prostaglandin J2 attenuates development of cyclophosphamide-induced cystitis rats	Masuda H, Chancellor MB, Kihara K, Yoshimura N	泌尿器外科
J Urol. 176: 374-9. 2006	Roles of peripheral and central nicotinic receptors in the micturition reflex in rats	Masuda H, Hayashi Y, Chancellor MB, Kihara K	泌尿器外科
BJU Int. 97: 1322-6. 2006	Loss of uroplakin III expression is associated with a poor prognosis in patients with urothelial carcinoma of the upper urinary tract	Ohtsuka Y, Kawakami S, Fujii Y, Koga F, Saito K, Ando N, Takizawa T, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
J Urol. 176: 2268-73. 2006	Spatial and isoform-specific p63 expression in the male human urogenital tract	Saito K, Kawakami S, Okada Y, Takazawa R, Koga F, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
Clin Cancer Res. 12: 3003-9. 2006	Glucocorticoids suppress tumor angiogenesis and in vivo growth of prostate cancer cells	Yano A, Fujii Y, Iwai A, Kawakami S, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
Clin Cancer Res. 12: 6012-7. 2006	Glucocorticoids suppress tumor lymphangiogenesis of prostate cancer cells	Yano A, Fujii Y, Iwai A, Kawakami S, Kageyama Y, Kihara K	泌尿器外科
Report of 4 cases. Int J Urol. 13: 829-31. 2006	11C-choline positron emission tomography in bladder cancer	Yoshida S, Nakagomi K, Goto S, Futatsubashi M, Torizuka T	泌尿器外科
Urology. 68: . 2006	The role of volume and attenuation value histogram of urinary stone on noncontrast helical CT as the predictor of fragility by extracorporeal shock wave lithotripsy	Yoshida S, Hayashi T, Ikeda J, Yoshinaga A, Ohno R, Ishii N, Okada T, Osada H, Honda N, Yamada T	泌尿器外科
泌尿器科紀要 52: 173-5. 2006	大量蒸留水灌流による表在性膀胱癌の術中播種阻止の検討	酒井康之, 藤井靖久, 兵地信彦, 増田 均, 川上 理, 小林 剛, 影山幸雄, 木原和徳	泌尿器外科